

総務教育常任委員会資料

(平成21年11月24日)

【件名】

- 1 平成21年度全国学力・学習状況調査の結果（地区別等）について
（小中学校課） …… 1
- 2 鳥取聾学校ひまわり分校中学部の設置について（特別支援教育課） …… 5
- 3 平成22年度県立学校入学者選抜に係る新型インフルエンザ対応について
（高等学校課、特別支援教育課） … 6
- 4 平成22年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験の結果について
（高等学校課、小中学校課、特別支援教育課） … 9
- 5 平成22年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況（9月末現在）について
（高等学校課） …12
- 6 「心のふれあいプロジェクト・フォーラム2009」の開催について
（家庭・地域教育課） …13
- 7 「ケータイ・インターネットとのつきあい方フォーラム」の実施結果について
（家庭・地域教育課） …14
- 8 県内文化財建造物の重要文化財指定について（文化財課） ……15
- 9 企画展「前田昭博 白瓷の造形」の開催について（博物館） ……17
- 10 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について（体育保健課） ……18
- 11 第64回国民体育大会「トキめき新潟国体」における鳥取県選手団の成績
について（スポーツ振興課） ……19

教 育 委 員 会

平成21年度全国学力・学習状況調査の結果（地区別等）について

平成21年11月24日
小 中 学 校 課

1 地区別（東・中・西）調査結果の概要

H21年度の地区別調査結果の地区間の平均正答率の開きは、小学校は最大で3.9ポイント（算数A）、中学校は最大で2.0ポイント（数学B）であり、学校種や教科等によって若干の違いはあるものの大きな開きはみられない。過去3年間でみても小学校は最大で4.6ポイント（H20算数A）、中学校は最大で4.5ポイント（H20数学B）である。

【小学校6年生】

	国語A							国語B						
	全国(公立)	東部	差	中部	差	西部	差	全国(公立)	東部	差	中部	差	西部	差
H19	81.7	84.4	2.7	85.0	3.3	83.9	2.2	62.0	64.0	2.0	64.0	2.0	64.0	2.0
H20	65.4	67.9	2.5	69.9	4.5	67.2	1.8	50.5	52.0	1.5	52.0	1.5	51.2	0.7
H21	69.9	71.6	1.7	72.9	3.0	69.2	-0.7	50.5	52.8	2.3	53.9	3.4	51.4	0.9

○国語A（主として知識）…18問

- ・平均正答率は、全国に比べて-0.7~+3.0ポイント
(H19年度は+2.2~3.3ポイント、H20年度は+1.8~4.5ポイント)
- ・地区間の平均正答率の開きは、最大で3.7ポイント
(H19年度は1.1ポイント、H20年度は2.7ポイント)

○国語B（主として活用）…10問

- ・平均正答率は、全国に比べて+0.9~3.4ポイント
(H19年度は+2.0ポイント、H20年度は+0.7~1.5ポイント)
- ・地区間の平均正答率の開きは、最大で2.5ポイント
(H19年度は±0.0ポイント、H20年度は0.8ポイント)

	算数A							算数B						
	全国(公立)	東部	差	中部	差	西部	差	全国(公立)	東部	差	中部	差	西部	差
H19	82.1	85.8	3.7	85.3	3.2	82.6	0.5	63.6	65.0	1.4	65.9	2.3	64.3	0.7
H20	72.2	74.8	2.6	75.5	3.3	70.9	-1.3	51.6	52.3	0.7	54.1	2.5	51.3	-0.3
H21	78.7	82.8	4.1	83.2	4.5	79.3	0.6	54.8	56.1	1.3	57.1	2.3	55.1	0.3

○算数A（主として知識）…18問

- ・平均正答率は、全国に比べて+0.6~4.5ポイント
(H19年度は+0.5~3.7ポイント、H20年度は-1.3~+3.3ポイント)
- ・地区間の平均正答率の開きは、最大で3.9ポイント
(H19年度は3.2ポイント、H20年度は4.6ポイント)

○算数B（主として活用）…14問

- ・平均正答率は、全国に比べて+0.3~2.3ポイント
(H19年度は+0.7~2.3ポイント、H20年度は-0.3~+2.5ポイント)
- ・地区間の平均正答率の開きは、最大で2.0ポイント
(H19年度は1.6ポイント、H20年度は2.8ポイント)

【中学校3年生】

	国語A							国語B						
	全国(公立)	東部	差	中部	差	西部	差	全国(公立)	東部	差	中部	差	西部	差
H19	81.6	83.8	2.2	81.1	-0.5	81.1	-0.5	72.0	75.0	3.0	71.0	-1.0	71.0	-1.0
H20	73.6	76.0	2.4	75.9	2.3	74.6	1.0	60.8	62.1	1.3	61.9	1.1	60.2	-0.6
H21	77.0	79.8	2.8	77.9	0.9	79.5	2.5	74.5	76.8	2.3	74.9	0.4	76.6	2.1

○国語A（主として知識）… 33問

- ・平均正答率は、全国に比べて+0.9~2.8ポイント
(H19年度は-0.5~+2.2ポイント、H20年度は+1.0~2.4ポイント)
- ・地区間の平均正答率の開きは、最大で1.9ポイント
(H19年度は2.7ポイント、H20年度は1.4ポイント)

○国語B（主として活用）… 11問

- ・平均正答率は、全国に比べて+0.4~2.3ポイント
(H19年度は-1.0~+3.0ポイント、H20年度は-0.6~+1.3ポイント)
- ・地区間の平均正答率の開きは、最大で1.9ポイント
(H19年度は4.0ポイント、H20年度は1.9ポイント)

	数学A							数学B						
	全国(公立)	東部	差	中部	差	西部	差	全国(公立)	東部	差	中部	差	西部	差
H19	71.9	74.4	2.5	73.6	1.7	72.5	0.6	60.6	62.9	2.3	61.2	0.6	60.6	0.0
H20	63.1	65.3	2.2	65.8	2.7	62.9	-0.2	49.2	51.5	2.3	53.5	4.3	49.0	-0.2
H21	62.7	64.1	1.4	63.6	0.9	64.1	1.4	56.9	58.1	1.2	57.0	0.1	59.0	2.1

○数学A（主として知識）… 33問

- ・平均正答率は、全国に比べて+0.9~1.4ポイント
(H19年度は+0.6~2.5ポイント、H20年度は-0.2~+2.7ポイント)
- ・地区間の平均正答率の開きは、最大で0.5ポイント
(H19年度は1.9ポイント、H20年度は最大で2.9ポイント)

○数学B（主として活用）… 15問

- ・平均正答率は、全国に比べて+0.1~2.1ポイント
(H19年度は±0.0~+2.3ポイント、H20年度は-0.2~+4.3ポイント)
- ・地区間の平均正答率の開きは、最大で2.0ポイント
(H19年度は2.3ポイント、H20年度は4.5ポイント)

2 市部・郡部別調査結果の概要

H21年度の市部・郡部別調査結果の市部と郡部の平均正答率の開きは、小学校は最大で1.0ポイント（国語B）、中学校は最大で0.9ポイント（数学B）と、大きな開きはみられない。過去3年間でも小学校は最大で1.0ポイント（H21国語B）、中学校も最大で1.0ポイント（H19国語B）である。

【小学校6年生】

	国語A					国語B				
	全国(公立)	市部	差	郡部	差	全国(公立)	市部	差	郡部	差
H19	81.7	84.4	2.7	83.9	2.2	62.0	64.0	2.0	64.0	2.0
H20	65.4	67.7	2.3	68.6	3.2	50.5	51.9	1.4	51.2	0.7
H21	69.9	70.9	1.0	71.0	1.1	50.5	52.2	1.7	53.2	2.7

○国語 A

- ・平均正答率は全国と比べて市部で+1.0 ポイント
郡部で+1.1 ポイント
- ・市部と郡部の平均正答率の開きは 0.1 ポイント
(H19年度は 0.5 ポイント、H20年度は 0.9 ポイント)

○国語 B

- ・平均正答率は全国と比べて市部で+1.7 ポイント
郡部で+2.7 ポイント
- ・市部と郡部の平均正答率の開きは 1.0 ポイント
(H19年度は 0.0 ポイント、H20年度は 0.7 ポイント)

	算数A					算数B				
	全国(公立)	市部	差	郡部	差	全国(公立)	市部	差	郡部	差
H19	82.1	84.2	2.1	84.7	2.6	63.6	65.0	1.4	65.0	1.4
H20	72.2	73.1	0.9	73.9	1.7	51.6	52.3	0.7	51.8	0.2
H21	78.7	81.4	2.7	81.8	3.1	54.8	56.0	1.2	55.7	0.9

○算数 A

- ・平均正答率は全国と比べて市部で+2.7 ポイント
郡部で+3.1 ポイント
- ・市部と郡部の平均正答率の開きは 0.4 ポイント
(H19年度は 0.5 ポイント、H20年度は 0.8 ポイント)

○算数 B

- ・平均正答率は全国と比べて市部で+1.2 ポイント
郡部で+0.9 ポイント
- ・市部と郡部の平均正答率の開きは 0.3 ポイント
(H19年度は 0.0 ポイント、H20年度は 0.5 ポイント)

【中学校 3 年生】

	国語A					国語B				
	全国(公立)	市部	差	郡部	差	全国(公立)	市部	差	郡部	差
H19	81.6	81.6	0.0	82.4	0.8	72.0	72.0	0.0	73.0	1.0
H20	73.6	75.5	1.9	75.3	1.7	60.8	61.2	0.4	61.5	0.7
H21	77.0	79.1	2.1	79.7	2.7	74.5	76.4	1.9	76.6	2.1

○国語 A

- ・平均正答率は全国と比べて市部で+2.1 ポイント
郡部で+2.7 ポイント
- ・市部と郡部の平均正答率の開きは 0.6 ポイント
(H19年度は 0.8 ポイント、H20年度は 0.2 ポイント)

○国語 B

- ・平均正答率は全国と比べて市部で+1.9 ポイント
郡部で+2.1 ポイント
- ・市部と郡部の平均正答率の開きは 0.2 ポイント
(H19年度は 1.0 ポイント、H20年度は 0.3 ポイント)

	数学A					数学B				
	全国(公立)	市部	差	郡部	差	全国(公立)	市部	差	郡部	差
H19	71.9	73.3	1.4	73.3	1.4	60.6	61.2	0.6	61.8	1.2
H20	63.1	64.5	1.4	64.2	1.1	49.2	51.0	1.8	50.6	1.4
H21	62.7	63.8	1.1	64.4	1.7	56.9	58.1	1.2	59.0	2.1

○数学 A

- ・平均正答率は全国と比べて市部で+1.1ポイント
郡部で+1.7ポイント
- ・市部と郡部の平均正答率の開きは0.6ポイント
(H19年度は±0.0ポイント、H20年度は0.3ポイント)

○数学 B

- ・平均正答率は全国と比べて市部で+1.2ポイント
郡部で+2.1ポイント
- ・市部と郡部の平均正答率の開きは0.9ポイント
(H19年度は0.6ポイント、H20年度0.4ポイント)

3 学級規模別調査結果の概要

学級規模別の分析でも大きな開きはみられないが、H21年度は小学校・中学校ともに30人以下の学級の方が平均正答率が高く、過去3年間でみても30人以下の学級の方が平均正答率が高い傾向にある。

【小学校】

	国語A			国語B			算数A			算数B		
	1~30人		31~40人	1~30人		31~40人	1~30人		31~40人	1~30人		31~40人
H19	84.4	=	84.4	64.0	=	64.0	84.2	<0.5	84.7	65.0	=	65.0
H20	69.1	>1.5	67.6	53.1	>2.1	51.0	74.4	>1.7	72.7	52.9	>1.4	51.5
H21	71.1	>0.4	70.7	53.1	>1.3	51.8	82.4	>1.8	80.6	56.3	>0.8	55.5

○小学校

- ・1~30人 > 31~40人 【0.4~1.8ポイントの開き】

【中学校】

	国語A			国語B			数学A			数学B		
	1~30人		31~40人	1~30人		31~40人	1~30人		31~40人	1~30人		31~40人
H19	83.0	>1.4	81.6	74.0	>3.0	71.0	74.2	>1.1	73.1	62.9	>2.3	60.6
H20	75.6	>0.3	75.3	62.4	>1.3	61.1	64.6	<0.5	65.1	51.1	>0.1	51.0
H21	79.7	>0.5	79.2	77.4	>1.3	76.1	64.3	>0.3	64.0	59.0	>0.7	58.3

○中学校

- ・1~30人 > 31~40人 【0.3~1.3ポイントの開き】

※4月に実施された調査ということ considering、平成20年度（小学校5年生時、中学校2年生時）の学級編制により、30人以下の学級と31人以上学級に分けて集計を行った。

鳥取聾学校ひまわり分校中学部の設置について

平成21年11月24日
特別支援教育課

県西部地区における聴覚障害教育の充実を図るため、鳥取聾学校ひまわり分校に平成22年度から中学部を設置することを検討している。

1 これまでの経過等

期 日	概 要
平成6年4月	米子市上福原にひまわり分校幼稚部を開設
平成16年4月	ひまわり分校に小学部を設置
平成18年7月	保護者からひまわり分校中学部の設置要望
平成19年7月	定例教育委員会で西部地区の聴覚障害の現状を報告
11月	定例教育委員会で、ひまわり分校中学部の設置に向けての今後の整備方針について了承（西部地区に聴覚障害の中学部を設置する方向性は了解）
平成20年5月	保護者からひまわり分校内に中学部単独設置の要望
9月	定例教育委員会で、ひまわり分校中学部の設置に向けて、現在地で分校内単独設置について了承
平成21年2月	定例教育委員会で、ひまわり分校中学部の設置に係る整備方針について了承

2 整備等の方針

- ・当面、現有施設を活用
- ・今後、中学部の生徒増により必要となる教室は、現有施設の内部改修により対応
- ・特別教室（体育館、技術室、音楽室等）は隣接する皆生養護学校の施設設備を借用（プールは県営プールを使用、運動場は近隣の中学校との交流学习で対応）

3 スケジュール（予定）

時 期	ひまわり分校中学部の状況	予算関係等
～平成22年3月	現有室を教室に転用	修繕工事等
平成22年4月～	中学部開設（1学級）	
～平成23年3月	教室及びトイレ等改修	ひまわり分校内部改修工事（補正予算対応）
平成23年4月～	中学部学級増（3学級）	

4 その他

(1) 在籍生徒数推計

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
中学1年	1	2	0	2	1
2年	0	1	2	0	2
3年	0	0	1	2	1
重複学級	0	0	1	1	1
合 計	1	3	4	5	5
学 級 数	1	2	3	3	4

※現在のひまわり分校在籍児童生徒数により推計（外部転入は含まない。）

(2) 今後の方向性

西部地区に高等部の整備はしない。高等部への進学については、社会参加に向けた人間関係の構築を図る必要があるため、鳥取聾学校若しくは松江聾学校への進学を勧めていく。

平成22年度県立学校入学者選抜に係る新型インフルエンザ対応について

平成21年11月24日
高等学校課
特別支援教育課

I 県立高等学校における対応

1 基本的な考え方

県立高等学校入学者選抜は県民の大きな関心事項であることから、様々な社会的影響を考慮し、進学のための受検の機会を確保することが重要である。

このため、平成22年度県立高等学校入学者選抜において、新型インフルエンザの感染が急激に拡大したとしても、受検生に不要な心配を与えぬよう、受検の機会を確保するなどの対策を講じる。

なお、ウイルスの性状が変化するなど病原性の増大等が生じた場合には、対応方針を見直す。

2 対応方針

平成22年度鳥取県立高等学校一般入学者選抜において、新型インフルエンザに罹患し、またはその疑いがあるため学力検査を受検できなかった者を対象に、追検査を実施する。

3 追検査の対象となる者

- (1) インフルエンザ様疾患の診断書が提出された者
- (2) インフルエンザ様症状（急な発熱、咳、喉の痛みなど）があり、検査当日に受検できないものとして、在籍する中学校長を通じて届出があった者

4 具体的対応

(1) 推薦入学者選抜について

ア 予定通り、2月9日（火）に実施する。

イ 当日、やむを得ない事情で検査を受けることができなかった志願者については、志願先高等学校長より中学校長を通じて本人に改めて検査日時を通知する。

(2) 一般入学者選抜における追検査について

ア 実施期日 3月11日（木）（学力検査の1週間後）

イ 実施会場 志願先高等学校

ウ 実施内容 ・一般入学者選抜学力検査と別の問題による5教科の学力検査を、一般入学者選抜学力検査の時間割と同じ時間割で実施する。

なお、追検査問題の作成に当たっては、難易度について、できる限り本検査問題との間に開きが生じないようにする。

・追検査終了後に面接を実施する。

エ 選 抜 本検査及び追検査の受検者を区別することなく合わせて行う。

オ 合格発表 3月16日（火）

※ 推薦入学者選抜の合格者と一般入学者選抜の合格者を併せて発表する。

(3) 再募集入学者選抜について

ア 3月25日（木）に実施する。

イ 追検査は実施しない。

(4) その他

ア 志願者の在籍する学校が、臨時休業、学年閉鎖、学級閉鎖中であっても、志願者にインフルエンザ様症状がない場合は受検を認める。

イ 学力検査当日に、インフルエンザに感染しており、あるいはインフルエンザ様症状がある志願者であっても受検を希望する者については、受検を認める。（別室での受検等の対応を予定。）

5 受検生等への情報提供

対応方針等を県内の各中学校、特別支援学校、県立高等学校及び県外指定地域内中学校等に通知し、受検生等に周知するとともに、高等学校課ホームページにも掲載する。

(日程)

平成22年度 鳥取県立高等学校入学者選抜 日程表

月	日	曜日	入試日程 (変更前)	入試日程 (変更後)
3月	1日	月	(卒業式)	(卒業式)
	2日	火		(通信制課程出願期間：～3/30)
	3日	水		
	4日	木	一般入試 (学力検査)	一般入試 (学力検査)
	5日	金	一般入試	一般入試
	6日	土		
	7日	日		
	8日	月		
	9日	火		(中学校卒業式)
	10日	水		
	11日	木		追検査
	12日	金	合格発表	
	13日	土		
	14日	日		
	15日	月		
	16日	火	入学者確定	合格発表
	17日	水	再募集出願	
	18日	木	再募集出願 (～正午)	入学者確定
	19日	金		再募集出願
	20日	土		
	21日	日		
	22日	月		
	23日	火	再募集入試	再募集出願 (～正午)
	24日	水	(終業式)	(終業式)
	25日	木	再募集合格発表	再募集入試
	26日	金		
	27日	土		
	28日	日		
	29日	月		再募集合格発表
	30日	火		(通信制課程出願期間：3/2～)
	31日	水		

II 県立特別支援学校（幼稚部・高等部・専攻科）における対応

1 基本的な考え方

感染拡大防止など公衆衛生に配慮することを考慮に入れ、教育を受ける権利を保障する観点から、感染者等に対して受検機会を確保することが重要である。基本的には、選抜方針及び募集要項に沿って個別対応等を行うこととする。

なお、新型インフルエンザウイルスの変異や感染範囲の拡大などによって、国や県の新たな方針が示された場合は、それに従い対応方針を見直す。

2 具体的な対応

(1) 鳥取盲学校（保健医療科、専攻科）

鳥取盲学校（保健医療科、専攻科）に出願した者で、新型インフルエンザ等についての医師の診断書又はそれに類すると判断できるものを提出した者を対象に、一般入試とは別に鳥取盲学校長が定める別日に学力検査・面接を実施する。

なお、期日等については、鳥取盲学校長が受検者等に対して通知する。

(2) その他の高等部及び幼稚部

当該特別支援学校長は、受検生が新型インフルエンザに感染しており、あるいはその恐れがある等、やむを得ない事由のあることを確認した場合は、当該特別支援学校長が定めた方法で別日に面接・諸検査等を実施する。

なお、その実施方法及び期日は、当該特別支援学校長が受検者等に対して通知する。

（実施方法の例）

- ・合格発表までの別日に面接、諸検査を行う
- ・合格発表までの別日に面接のみを行い、他の諸検査については合格発表後に行う

(3) 合格発表日 3月16日（火）に変更する。（当初：3月12日（金））

(4) 再募集に係わる日程 下記の通り変更する。

再募集出願期間	3月19日（金）～23日（火）正午 （当初：3月17日（水）～18日（木）午後5時）
再募集入試	3月25日（木）（当初：3月23日（火））
再募集合格発表	3月29日（月）（当初：3月25日（木））

(5) その他留意事項

ア 各県立特別支援学校においては、新型インフルエンザに感染し、又はその疑いのある者に対する受検の機会を最大限に確保する方策を講じること。また、季節性インフルエンザや他の疾病等によって受検できない場合においても同様とする。

イ 選抜検査の当日に別室で諸検査・面接等を行うことは、他学部では授業を行っていること、検査者等へ感染するおそれがあることから実施しない。

3 合格者の発表について

別日に受検した者で、合格発表日までに判定手続き等が可能な受検生については、予定どおりの合格発表日程及び方法で行う。合格発表日までに判定することが困難な場合は、個別に後日、追加合格発表を行う。なお、この場合には、合格発表日にその旨を公示するものとする。

4 受検生等への情報提供について

特別支援教育課のホームページに掲載するとともに、県内の各中学校（特別支援学校中学部を含む）等を通じて受検予定者等に周知する。また、各県立特別支援学校においては、県外からなどその他の受検予定者にも周知を図るとともに、電話等の問い合わせに対応するものとする。

平成22年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験の結果について

平成21年11月24日
高等学校課
小中学校課
特別支援教育課

1 試験概要について

〈第一次選考試験〉

- (1) 試験日 平成21年7月18日(土)、19日(日)
(2) 受験者数と合格者数

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	特別支援学校 理療科教諭	養護教諭	合計
受験者数	305人	307人	344人	92人	2人	60人	1,110人
合格者数	160人	89人	60人	67人	2人	17人	395人

(3) 試験内容

- 一般教養・教職教養試験 ○専門教科(科目)に関する試験(筆記試験、技能・実技試験)
○集団面接 ○教育問題に関する討議(小学校、特別支援学校以外)

〈第二次選考試験〉

- (1) 試験日
○高等学校 8月31日(月)～9月1日(火)
○小、中、特別支援学校、養護教諭 9月2日(水)～9月4日(金)

(2) 受験者数と合格者数

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	特別支援学校 理療科教諭	養護教諭	合計
受験者数	159人	89人	60人	67人	2人	17人	394人
A登載者数	35人	10人	20人	10人	2人	4人	81人
B登載者数	2人	0人	0人	0人	0人	0人	2人
C登載者数	122人	79人	20人	57人	0人	13人	291人
不合格	0人	0人	20人	0人	0人	0人	20人

参考：各名簿登載区分の内容

- A登載：平成22年度本県公立学校の教員として正式に採用する。
B登載：平成22年度講師として1年間臨時的に任用する。また、欠員の状況によっては教員として正式に採用する。
C登載：平成22年度講師として臨時的(非常勤を含む)に任用する。

(3) 試験内容

- 適性検査 ○児童生徒への模擬指導等 ○個人面接
○集団面接 ○学習指導案作成(高等学校教諭受験者のみ実施)

2 40歳代の受験者数及びA登載者数

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	特別支援学校 理療科教諭	養護教諭	合計
受験者数	19人	19人	13人	12人	0人	3人	66人
A登載者数	1人	0人	1人	0人	0人	0人	2人

3 身体に障害のある者を対象とした選考

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	特別支援学校 理療科教諭	養護教諭	合計
受験者数	0人	1人	0人	1人	2人	0人	4人
A登載者数	0人	0人	0人	1人	2人	0人	3人

4 スポーツ・芸術の分野に秀でた者を対象とした選考

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	特別支援学校 理療科教諭	養護教諭	合計
受験者数	 	4人	15人	 	 	 	19人
A登載者数	 	0人	0人	 	 	 	0人

5 A登載者数の推移

	H17	H18	H19	H20	H21	H22
小学校	80人	60人	20人	10人	10人	35人
中学校	60人	45人	20人	6人	8人	10人
高等学校	40人	41人	30人	25人	21人	20人
特別支援学校	18人	16人	12人	10人	10人	10人
特別支援学校 理療科教諭	—人	—人	—人	—人	—人	2人
養護教諭	6人	8人	4人	2人	2人	4人
合計	204人	170人	86人	53人	51人	81人
障害者枠(内数)	(特別支援)2人	0人	0人	0人	0人	(特別支援)3人
スポーツ・芸術枠(内数)	 	 	 	 	 	0人

平成22年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験状況

校種・教科	採用 予定 者数	志願者数			受験者数			一次合格者数			名簿登載者数					2次 不合格	2次 欠席	
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	A登載者数			合格 倍率	B登載			C登載
											男	女	計					
小学校	35	123	199	322	114	191	305	65	95	160	11	24	35	8.7	2	122	0	1
中 学 校	国語	8	30	38	8	29	37	2	11	13	0	1	1	37.0	0	12	0	0
	社会	37	14	51	36	14	50	12	1	13	1	0	1	50.0	0	12	0	0
	数学	35	17	52	33	17	50	10	6	16	1	0	1	50.0	0	15	0	0
	理科	21	9	30	21	9	30	8	3	11	1	0	1	30.0	0	10	0	0
	音楽	4	10	14	4	9	13	1	3	4	1	0	1	13.0	0	3	0	0
	美術	5	5	10	4	5	9	1	1	2	1	0	1	9.0	0	1	0	0
	技術	4	1	5	4	1	5	2	1	3	1	0	1	5.0	0	2	0	0
	家庭	0	11	11	0	10	10	0	3	3	0	1	1	10.0	0	2	0	0
	保体	30	21	51	29	20	49	9	3	12	1	0	1	49.0	0	11	0	0
	英語	16	40	56	16	38	54	1	11	12	0	1	1	54.0	0	11	0	0
	小計	160	158	318	155	152	307	46	43	89	7	3	10	30.7	0	79	0	0
高 等 学 校	国語	15	24	39	15	21	36	2	3	5	1	1	2	18.0	0	2	1	0
	地理歴史	37	11	48	34	9	43	4	1	5	1	1	2	21.5	0	1	2	0
	公民	17	1	18	16	1	17	2	0	2	0	0	0	—	0	0	2	0
	数学	40	7	47	39	6	45	9	0	9	4	0	4	11.3	0	4	1	0
	理科	28	13	41	26	12	38	2	2	4	0	1	1	38.0	0	1	2	0
	保健体育	37	20	57	34	17	51	6	1	7	3	0	3	17.0	0	2	2	0
	芸術(音楽)	5	10	15	4	9	13	0	4	4	0	1	1	13.0	0	1	2	0
	芸術(美術)	7	4	11	7	4	11	3	1	4	1	0	1	11.0	0	1	2	0
	英語	18	23	41	17	21	38	2	4	6	0	1	1	38.0	0	2	3	0
	家庭	2	14	16	2	14	16	0	2	2	0	1	1	16.0	0	0	1	0
	農業	10	0	10	7	0	7	5	0	5	2	0	2	3.5	0	3	0	0
	商業	14	9	23	14	7	21	2	1	3	0	1	1	21.0	0	0	2	0
	情報	10	1	11	8	0	8	4	0	4	1	0	1	8.0	0	3	0	0
小計	240	137	377	223	121	344	41	19	60	13	7	20	17.2	0	20	20	0	
特別支援学校	10	26	69	95	24	68	92	17	50	67	3	7	10	9.2	0	57	0	0
特別支援学校 理科 教諭	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	1.0	0	0	0	0
養護教諭	4	0	65	65	0	60	60	0	17	17	0	4	4	15.0	0	13	0	0
合計	81	551	628	1,179	518	592	1,110	171	224	395	36	45	81	13.7	2	291	20	1

※特別支援学校理科教諭は二次試験を実施しないため、A登載とした2名とも1次合格者数に計上
 ※合格倍率: 受験者数/A登載者数

平成22年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験に係る改善の実施状況

高等学校課
 小中学校課
 特別支援教育課

改善方策（平成21年2月決定）	実施状況
<p>1 試験問題・解答例・配点の公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈新〉非公表であった一意に定まらない解答についても解答例を公表 ・筆記試験の配点の公表 ・試験問題、解答例、配点をHPで公開 	<p>試験問題、解答例、配点を鳥取県教育委員会ホームページ、県民室、各県民局、各教育局等において公表</p>
<p>2 〈新〉採用選考基準の公表</p> <p>【第一次選考試験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接試験の評価の観点及び評価基準の公表 ・教育問題に関する討議の評価の観点及び評価基準の公表 ・各試験の満点の得点の公表 <p>【第二次選考試験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接試験の評価の観点及び評価基準の公表 ・児童生徒への模擬指導等の評価の観点及び評価基準の公表 ・各試験の満点の得点の公表 	<p>第一次選考試験・第二次選考試験ともに、選考試験実施前に公表（記者発表を実施）</p>
<p>3 選考の各段階における不正防止チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈新〉選考業務担当課以外の教育委員会事務局の職員による、答案の得点・評価表の評価と選考資料の突合（第一次選考試験及び第二次選考試験） ・採用判定時に受験者の匿名化を図る 	<p>第一次選考試験及び第二次選考試験ともに、教育総務課教育行政監察担当による選考資料と各試験項目の得点・評価等の突合を実施</p> <p>受験者を特定できないように、整理番号を用いて選考資料を作成し、選考協議を実施</p>
<p>4 公正な面接試験の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接官（事務局・民間）に対する評価者研修会の充実 	<p>第一次選考試験・第二次選考試験ともに選考試験実施前に、別日程で東部・中部・西部の各地区で実施</p>
<p>5 関係文書の保存期間の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈新〉鳥取県教育委員会文書等の整理、保管及び保存に関する規程の改正 	<p>鳥取県教育委員会文書等の整理、保管及び保存に関する規程に以下のように規定（平成21年3月13日施行）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施要項及び試験問題等は永年保存 ・選考資料は10年保存 ・選考試験の運営に係る実施要項、答案用紙、面接試験等の評価票、適性検査結果、志願書等は2年保存
<p>6 その他の不正防止のための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員による選考プロセスの点検 ・〈新〉教育委員会事務局以外の機関との選考プロセスに関する意見交換の実施 	<p>平成21年11月定例教育委員会にて、選考プロセスの改善方策を報告</p> <p>人事委員会との意見交換会を実施予定</p>

注：〈新〉は、平成22年度教員採用候補者選考試験から新たに実施した改善方策を表す。

平成22年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況(9月末現在)について

平成21年11月24日

高等学校課

就職内定状況(対象:公・私、全・定の卒業予定者のうち、公共職業安定所・学校を通じた求職者)

(1) 求職者の状況

- ・求職者は、1,199人で前年同期に比べ14.0%、実数で195人減少。
- ・卒業予定者に占める求職者の割合は、21.1%で前年同期に比べ2.4ポイント低下。

年月	卒業予定者(人)			求職者数(人)			求職者の構成比(%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成21年9月末	5,674	2,892	2,782	1,199	675	524	21.1	23.3	18.8
平成20年9月末	5,936	3,010	2,926	1,394	771	623	23.5	25.6	21.3
平成21年3月末	5,899	2,989	2,910	1,290	731	559	21.9	24.5	19.2

- ・県内就職を希望する求職者は881人で前年同期に比べ16.2%、実数で170人減少。
- ・求職者に占める県内就職を希望する求職者の割合は73.5%で前年同期に比べ1.9ポイント低下。

年月	県内就職を希望する求職者(人)				県内就職希望率(%)			
	計	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部
平成21年9月末	881	326	155	400	73.5	75.6	74.2	71.6
平成20年9月末	1,051	433	187	431	75.4	79.3	74.8	72.1
平成21年3月末	969	382	176	411	75.1	78.8	72.7	73.0

(2) 求人状況

- ・県内求人数は、532人で前年同期に比べ42.2%、実数で389人減少。
- ・求人倍率は0.44倍で前年同期に比べ0.22ポイントの低下。
- ・県内、県外求人ともに減少。

【参考】

年月	県内求人		求人倍率		
	人数(人)	倍率(倍)	県外からの連絡求人(人)	県内就職希望者の求人倍率(倍)	県外就職希望者の求人倍率(倍)
平成21年9月末	532	0.44	384	0.60	1.21
平成20年9月末	921	0.66	762	0.88	2.22
平成21年3月末	1,203	0.93	778	1.24	2.42

* 求人倍率は、県内求人数を全求職者数で割ったもの。

県内就職希望者の求人倍率は、県内求人数を県内就職を希望する求職者数で割ったもの。

(3) 就職内定者数

- ・就職内定者は、352人で前年同期に比べ42.6%、実数で261人減少。
- ・就職内定率は、29.4%で前年同期に比べ14.6ポイントの低下。

年月	就職内定者数(人)				就職内定率(%)			
	計	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部
平成21年9月末	352	135	57	160	29.4	31.3	27.3	28.6
平成20年9月末	613	225	119	269	44.0	41.2	47.6	45.0
平成21年3月末	1,263	474	240	549	97.9	97.7	99.2	97.5

- ・県内就職を希望する求職者の就職内定率は、25.5%で前年同期に比べ14.0ポイント低下。

年月	県内外別・地域別就職内定率(%)											
	計	県内		東部		県内		中部		西部		県内
平成21年9月末	29.4	25.5	39.9	31.3	27.3	43.8	27.3	25.8	31.5	28.6	24.0	40.3
平成20年9月末	44.0	39.5	57.7	41.2	36.7	58.4	47.6	44.4	57.1	45.0	45.0	40.1
平成21年3月末	97.9	97.2	100.0	97.7	97.1	100.0	99.2	98.9	100.0	97.5	97.5	96.6

【参考】求職者数(県内・県外)の推移

年月	求職者数(人)			求職者の構成比(%)	
	計	県内	県外	県内	県外
平成21年9月末	1,199	881	318	73.5	26.5
平成20年9月末	1,394	1,051	343	75.4	24.6
平成19年9月末	1,367	1,079	288	78.9	21.1
平成18年9月末	1,448	1,183	265	81.7	18.3

上記のデータは、鳥取労働局職業安定部による。

「心のふれあいプロジェクト・フォーラム2009」の開催について

平成21年11月24日
家庭・地域教育課

1 趣 旨

平成18年度から平成20年度までの3年間、NPO法人に委託して小・中・高校生が赤ちゃんとその保護者とふれあう機会をつくり、命の尊さを深く認識したり、コミュニケーションの能力の向上をさせたりするための事業をモデル的に実施してきたが、市町村での取組みが十分進まなかった。

そこで、この事業は子どもたちが本来持っている能力を引き出す優れた事業であることから、平成21年度からは指導者を養成するため、「心のふれあいプロジェクト指導者養成事業」を開始した。

当フォーラムでは、子どもの心の教育についての最新の知見を学ぶとともに、県内外の実践者の報告を聞き、この事業の成果や取組みの周知を図り、今後の方向性を探っていく。

2 フォーラムの概要

- (1) 日 時 平成21年12月5日(土) 12:50~16:50
- (2) 会 場 三朝町総合文化ホール
- (3) 対 象 各市町村行政関係者、各学校教職員、一般県民 150名程度
- (4) 主 催 NPO法人未来
- (5) 主な日程

13:00~ 3:50	実践報告 「赤ちゃん登校日 すてきなあなたになるために ～豊かな人間関係づくりを学ぶ～」 報告者：おもいやりネット出雲、西伯小学校、境港市
14:00~ 15:00	基調講演 「子どもの心の教育に必要なもの～赤ちゃんからのメッセージ～」 講師：汐見 稔幸 氏 (東京大学名誉教授)
15:10~ 16:40	シンポジウム 「赤ちゃんからのメッセージ～今、われわれに必要なのは何か～」 シンポジスト：汐見 稔幸 氏 (東京大学名誉教授) 平井 伸治 氏 (鳥取県知事) 高塚 人志 氏 (鳥取大学医学部准教授) コーディネーター：浜田 妙子 氏 (鳥取県議会議員)

3 参加者募集について

- (1) 当日参加も可能とするが、準備の都合上、事前申込みを行う。
- (2) 参加者は、直接NPO法人未来へ郵送、ファクシミリ、またはホームページの専用申込フォームを使って申込みを行う。
(申込期限は11月25日(水))
 - ・ポスター、ちらしによる広報
 - ・県政だより11月号、日本海新聞(11月15日)に掲載

4 参 考 「心のふれあいプロジェクト指導者養成事業」について

- ・ 県東・中・西部各地域に指導者やコーディネーターが育ち、全県的にいつでも、どこでも赤ちゃん登校日(乳幼児とのふれあい会)を実施することが可能となるよう、指導者養成講座を開催する。

・ 内容

- 第1、2回 小講義、体験学習
- 第3～5回 実地研修
- 第6回 成果報告会(フォーラム)(今回)

「ケータイ・インターネットとのつきあい方フォーラム」の実施結果について

平成21年11月24日
家庭・地域教育課

1 概要

- (1) 期 日 平成21年11月8日(日) 午前9時から午後4時
 (2) 会 場 とりぎん文化会館(第一会議室およびフリースペース)
 (3) 参加者数 講演会等70名/学習・体験コーナー50名

2 内容

(1) 【講演】演題:「ネットいじめ・ケータイ依存から子どもを守る」

講師: 全国 web カウンセリング協会 理事長 安川 雅史 氏

- 子どもたちの携帯電話に関わるトラブルについて、全国で相談活動を展開している安川氏ならではの具体的な事例を紹介され、その解決の過程から見えてきた保護者の責任や学校での指導方法まで示唆に富んだ講演であった。

(2) 【アンケート結果報告】

「2009年携帯電話アンケート結果報告」 県教育委員会事務局

- 県教育委員会が携帯電話に関して初めて行ったアンケートの結果について、所持率やトラブル等、県内の子どもたちの実態が明らかになった。

(3) 【パネルディスカッション】

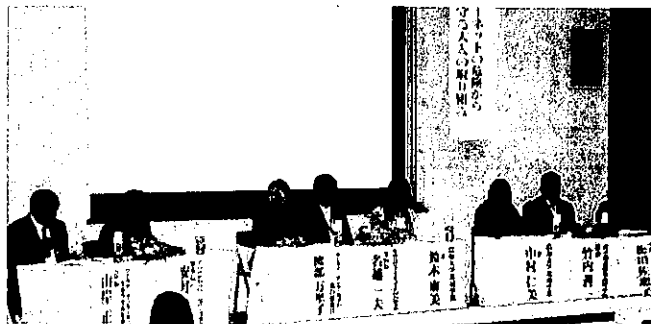
<コーディネータ> ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会長 山岸正明 氏

<アドバイザー> 全国 web カウンセリング協会 理事長 安川雅史 氏

<パネリスト> ケータイ・インターネット教育推進員 渡部万里子 氏

- ・(株)NTTドコモ 名越一夫 氏
- ・県立倉吉農業高等学校 竹内善一 氏
- ・鳥取大学(学生) 鈴木麻美 氏
- ・鳥取大学(学生) 中村仁美 氏
- ・県教育委員会事務局 松田佐恵子

- ・現状と課題についての報告や意見を元に、これからの具体的な取組について活発にディスカッションした。



(4) 【学習・体験コーナー】

<学習・体験コーナー>
<展示コーナー>

- ・関係する企業やNPO法人の協力により、フィルタリングの方法や効果について、機器を使いながら子どもたちの実際の使い方と子どもを守るしくみを体験できた。

3 参加者の評価と主な意見

(1) アンケート結果

とても満足	満足	不満である	無回答
25%	63%	0%	12%

(2) 参加者からの主な意見

- ・子どものケータイ社会がどういう状況なのか、知らない大人が多いことに気づかされた。
- ・安川先生のお話しがとても参考になった。講演時間がもっとあればよかった。
- ・内容がよかったので、保護者や一般の参加者も募る働きかけが必要ではないかと感じた。
- ・情報モラル教育、道徳教育を頑張してほしい。
- ・すべての親が指導できないので、小中学生にケータイは持たせない。

4 フォーラムの成果と課題

- 子どもたちに対しての責任は親であることと、学校での指導の必要性について強くアピールできた。
- これまでと同様に、「先に知ったものが、知らない人へ伝える」という基本的スタンスに立った草の根的な啓発活動方針を再確認できた。
- ◆新聞広告の掲載や学校等へのチラシ配布などで周知を図り、多くの参加を期待したが、当日は参加者が少なく、残念であった。事務局内の連携を含めて、今後の課題である。

県内文化財建造物の重要文化財指定について

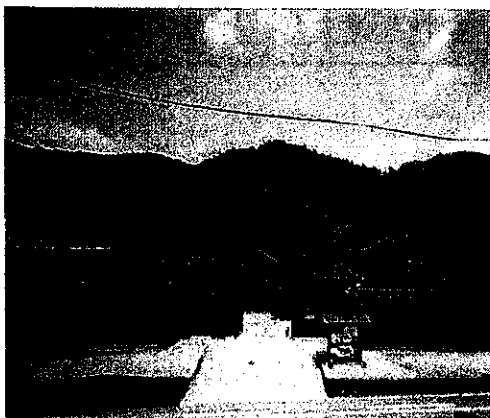
平成21年11月24日
文化財課

平成21年10月16日(金)に開催された国の文化審議会(会長 ^{にしはら}西原 ^{すずこ}鈴子)において、下記の文化財を重要文化財に指定する旨の答申が行われました。
この結果、近日中に行われる官報告示を経て、重要文化財となる予定です。

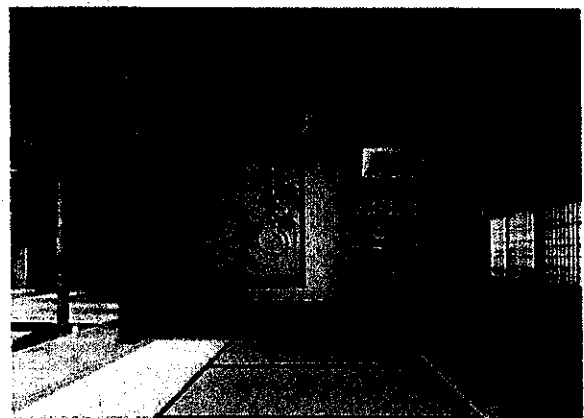
記

指定が答申された県内建造物

名 称	石谷家住宅(いしたにけじゅうたく)																	
所在地	鳥取県八頭郡智頭町大字智頭396番																	
指定物件	<table border="0"> <tr> <td>主屋</td> <td>1棟</td> <td rowspan="8">} 8棟</td> </tr> <tr> <td>座敷棟</td> <td>1棟</td> </tr> <tr> <td>家族棟</td> <td>1棟</td> </tr> <tr> <td>一号蔵</td> <td>1棟</td> </tr> <tr> <td>二号蔵</td> <td>1棟</td> </tr> <tr> <td>三号・四号蔵</td> <td>1棟</td> </tr> <tr> <td>五号・六号蔵</td> <td>1棟</td> </tr> <tr> <td>七号蔵</td> <td>1棟</td> </tr> </table> <p>附 棟札 1枚 附 棟札 1枚 附 棟札 1枚</p> <p>附 玄関棟、大工小屋、炭置場、裏門、車庫 各1棟、普請関係文書15冊 宅地 4,527.46㎡</p>	主屋	1棟	} 8棟	座敷棟	1棟	家族棟	1棟	一号蔵	1棟	二号蔵	1棟	三号・四号蔵	1棟	五号・六号蔵	1棟	七号蔵	1棟
主屋	1棟	} 8棟																
座敷棟	1棟																	
家族棟	1棟																	
一号蔵	1棟																	
二号蔵	1棟																	
三号・四号蔵	1棟																	
五号・六号蔵	1棟																	
七号蔵	1棟																	
所有者	智頭町、石谷樹人、石谷正樹																	
概要	<p>石谷家住宅は、姫路と鳥取を結ぶ智頭往来智頭宿に位置する。当家は元禄年間(1688~1704)に鳥取から智頭宿に移り住んだと伝えられ、明治以降には山林を経営し、インフラ整備などにも尽力した。</p> <p>当家住宅は、大正8年から昭和4年にかけて建てられた建物群で、地元の大工、田中力蔵が設計監督を務めた。</p> <p>地方特産の杉材をはじめとして様々な樹種を用いて建てられ、主屋土間にみられる大きな松の梁組は豪壮である。また座敷の細部意匠も洗練されており、優れた近代和風住宅として価値が高い。付属屋や庭を含む屋敷構えも良好に残されていることから、宅地と建物あわせて指定される。</p>																	



屋敷構え正面



新建 座敷

写真は三沢博昭氏撮影

<参考>

鳥取県の国指定文化財（建造物）、県指定保護文化財（建造物）数（今回指定後）

国指定文化財（建造物）	県指定保護文化財（建造物）	計
16件	18件	34

県内の国指定文化財（建造物）

国宝・重要文化財別	名称	所在地	指定年月日
国宝	三仏寺奥院（投入堂）	三朝町	昭和27年3月29日 (明治37年2月18日)
重要文化財	樗谿神社	鳥取市	昭和27年7月19日
重要文化財	不動院岩屋堂	若桜町	昭和28年11月14日
重要文化財	三仏寺納経堂	三朝町	昭和32年2月19日 (明治37年2月18日)
重要文化財	三仏寺地藏堂	三朝町	昭和32年2月19日 (明治37年2月18日)
重要文化財	三仏寺文殊堂	三朝町	昭和32年2月19日 (明治37年2月18日)
重要文化財	大山寺阿弥陀堂	大山町	昭和32年2月19日 (明治37年2月18日)
重要文化財	仁風閣	鳥取市	昭和48年6月2日
重要文化財	福田家住宅	鳥取市	昭和49年2月5日
重要文化財	後藤家住宅	米子市	昭和49年2月5日
重要文化財	矢部家住宅	八頭町	昭和49年2月5日
重要文化財	門脇家住宅	大山町	昭和49年2月5日
重要文化財	長谷寺本堂内厨子	倉吉市	昭和63年12月19日
重要文化財	大神山神社奥宮	大山町	昭和63年12月19日
重要文化財	旧美敷水源地水道施設	鳥取市	平成19年6月18日
重要文化財	石谷家住宅	智頭町	

※指定年月日欄の下段（ ）内表示は旧法（古社寺保存法）指定年月日を示す

企画展「前田昭博 白瓷の造形」の開催について

平成21年11月24日
博 物 館

1 展覧会名	前田昭博 白瓷（はくじ）の造形
2 会 期	平成21年11月21日（土）～12月20日（日） 会期中無休
3 会 場	鳥取県立博物館 第2展示室
4 主 催	鳥取県立博物館
5 協 賛	株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社、株式会社モリックスジャパン
6 観 覧 料	一般600円（前売、団体400円）
7 概 要	現代日本を代表する陶芸家のひとりとして活躍する、鳥取県八頭郡河原町（現・鳥取市）出身の前田昭博（まえた・あきひろ 1954年～）氏の個展。大学卒業後から今日まで、ほぼ一貫して白磁を追究してきた前田氏のこれまでの仕事を、文化庁や東京国立近代美術館の所蔵品などを含む105点の作品により振り返ります。

1 展示構成と主な展示作品

- ①白い器胎との出会い ～初期（70年代～80年代初頭）の作品
日本陶芸展に初入選した《白瓷面取壺》^{はくじめんとりつぼ} 1979年など 6点
- ②〈かたち〉と質感の追究 ～80年代の作品
茶の湯の造形展優秀賞受賞作《白瓷鑄文蓋物》^{はくじしのぎもんふたもの} 1985年（田部美術館蔵）など 10点
- ③進化する立体造形としての器へ ～90年代の作品から最新作まで
日本伝統工芸展朝日新聞社賞受賞作《白瓷面取壺》2000年（文化庁蔵）など 59点
- ④日常の白瓷器 ～湯呑や小鉢等、前田の造形理念を映す日々の器
長く作り続けている《白瓷面取湯呑》や、新作の《白瓷面取珈琲碗》など 30点

2 関連事業 ※いずれも午後2時より。

開催日	名 称	講 師
11月21日（土）	アーティストトーク ※要観覧料 （陶芸家自身による作品解説）	前田 昭博 氏
11月28日（土）	トークセッション ※要観覧料 （陶芸家と工芸研究者が、展示されている作品や、現代陶芸の動向について対談）	前田 昭博 氏 金子 賢治 氏 （東京国立近代美術館工芸課長）
12月 5日（土） 12月12日（土）	ギャラリートーク ※要観覧料	当館学芸員
12月19日（土）	アートセミナー ※無料 「前田昭博の白瓷を分析する」	当館学芸員

3 その他

- ①博物館での展示終了後、約60点の作品を大阪・アートコートギャラリー（大阪市北区天満橋・平成22年1月9日～2月7日）へ巡回展示。
- ②博物館内喫茶コーナーで、会期中、前田さんが作られた珈琲碗でコーヒーを提供。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成21年11月24日

体 育 保 健 課

工事名	【経済雇用対策3次】県営米子屋内プール空調設備改修工事
工 事 場 所	米子市皆生温泉三丁目
契約の 相手方	株式会社モチダ
契 約 金 額	96,390,000円
工 期	平成21年10月 9日～ 平成22年 3月10日
契 約 年月日	平成21年10月 9日
摘 要	

第64回国民体育大会「トキめき新潟国体」における鳥取県選手団の成績について

平成21年11月24日
スポーツ振興課

男女総合成績(天皇杯) 47位 得点598.5点
女子総合成績(皇后杯) 40位 得点412.0点

季別	No.	競 技 名	天皇杯得点及び順位			皇后杯得点及び順位			
			参加得点	競技得点	合計得点	参加得点	競技得点	合計得点	
冬 季	1	スケート	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	2	アイスホッケー	10	0 (0)	10	—	—	—	
	3	スキー	アルペン	10	0 (5)	10	10	0 (0)	10
			クロスジャンプ	10	0 (4)		10	0 (0)	
	冬 季 小 計			30 (30)	0 (9)	30 (39)	20 (20)	0 (0)	20 (20)
順 位			33位 (29位)			26位 (26位)			
本 大 会	1	陸 上 競 技	10	31 (20)	41	10	9 (2)	19	
	2	水 泳	競 泳	10	0 (0)	15	10	0 (0)	10
			飛 込	10	5 (12)		10	0 (0)	
			水 球	10	0 (0)		—	—	
			シンクロ	10	0 (0)		10	0 (0)	
	3	サ ッ カ ー	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	4	テ ニ ス	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	5	ボ ー ト	10	19 (28)	29	10	13 (22)	23	
	6	ホ ッ ケ ー	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	7	ボ ク シ ン グ	10	0 (2.5)	10	—	—	—	
	8	バ レ ー ボ ー ル	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	9	体 操	競 技	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10
			新 体 操	10	0 (20)		10	0 (20)	
	10	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	11	レ ス リ ン グ	10	2.5 (5.5)	12.5	—	—	—	
	12	セ ー リ ン グ	10	0 (9)	10	10	0 (9)	10	
	13	ウ ェ イ ト リ フ テ ィ ン	10	0 (0)	10	—	—	—	
	14	ハ ン ド ボ ー ル	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	15	自 転 車 競 技	10	0 (0)	10	—	—	—	
	16	ソ フ ト テ ニ ス	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	17	卓 球	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	18	軟 式 野 球	10	0 (0)	10	—	—	—	
	19	相 撲	10	36.5 (36.5)	46.5	—	—	—	
	20	馬 術	10	0 (6)	10	10	0 (6)	10	
	21	フ ェ ン シ ン グ	10	0 (3)	10	10	0 (0)	10	
	22	柔 道	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	23	ソ フ ト ボ ー ル	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	24	バ ド ミ ン ト ン	10	0 (7.5)	10	10	0 (7.5)	10	
	25	弓 道	10	39 (24)	49	10	39 (24)	49	
	26	ラ イ フ ル 射 撃	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	27	剣 道	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	28	ラ グ ビ ー フ ッ ト ボ ー ル	10	0 (0)	10	—	—	—	
	29	山 岳	10	36 (18)	46	10	24 (18)	34	
	30	カ ヌ ー	10	4 (25)	14	10	4 (18)	14	
	31	ア ー チェリ ー	10	15 (0)	25	10	15 (0)	25	
	32	空 手 道	10	10.5 (0)	20.5	10	8 (0)	18	
	33	銃 剣 道	10	0 (0)	10	—	—	—	
34	ク レ ー 射 撃	10	0 (0)	10	—	—	—		
35	な ぎ な た	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10		
36	ボ ウ リ ン グ	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10		
37	ゴ ル フ	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10		
小 計			370 (370)	198.5 (217.0)	568.5 (587.0)	280 (280)	112.0 (126.5)	392.0 (406.5)	
			47位 (46位)			40位 (38位)			
総 計			400 (400)	198.5 (226.0)	598.5 (626.0)	300 (300)	112.0 (126.5)	412.0 (426.5)	
			47位 (46位)			40位 (38位)			

() は 昨 年 の 成 績 を 示 す。

天皇杯／皇后杯 総合得点一覧表

トキめき新潟国体

2009/10/6

【競技終了】

<<都道府県順>>

<<成績順>>

都道府県名	順位	男女総合 (天皇杯)	都道府県名	順位	女子総合 (皇后杯)
北海道	7位	1550.5	北海道	9位	730
青森	34位	803.5	青森	42位	381.5
岩手	39位	744.5	岩手	44位	371
宮城	15位	1201.5	宮城	17位	563
秋田	30位	868	秋田	41位	408.5
山形	27位	898.5	山形	24位	523
福島	35位	788	福島	37位	421.5
茨城	23位	995.33	茨城	22位	524.33
栃木	26位	908	栃木	38位	420.5
群馬	17位	1175.5	群馬	15位	597
埼玉	4位	1739.5	埼玉	7位	746
千葉	6位	1589.5	千葉	5位	760
東京	2位	1910	東京	2位	1001
神奈川	5位	1643	神奈川	4位	782.5
山梨	31位	859	山梨	21位	525
新潟	1位	2426	新潟	1位	1054.5
長野	18位	1147	長野	16位	574
富山	37位	773	富山	34位	442.5
石川	22位	1020.5	石川	29位	496.5
福井	32位	837	福井	30位	492
静岡	21位	1029	静岡	18位	559
愛知	8位	1530.33	愛知	6位	755.83
三重	44位	691	三重	45位	363
岐阜	16位	1194.5	岐阜	8位	738
滋賀	38位	758	滋賀	31位	490
京都	9位	1507	京都	11位	645
大阪	3位	1767	大阪	3位	863.5
兵庫	10位	1324.5	兵庫	10位	696
奈良	33位	833	奈良	43位	375.5
和歌山	43位	705	和歌山	35位	441
鳥取	47位	598.5	鳥取	40位	412
島根	42位	719.5	島根	35位	441
岡山	12位	1238	岡山	14位	619
広島	11位	1248.5	広島	13位	629
山口	28位	890.5	山口	20位	526.5
香川	24位	977	香川	32位	475.5
徳島	40位	739.5	徳島	28位	513
愛媛	36位	777	愛媛	33位	446.5
高知	45位	663.5	高知	47位	327.5
福岡	19位	1136	福岡	25位	522.5
佐賀	29位	888.5	佐賀	27位	516
長崎	20位	1034.33	長崎	23位	523.33
熊本	13位	1210	熊本	19位	541.5
大分	14位	1209	大分	12位	640.5
宮崎	46位	622.5	宮崎	46位	341.5
鹿児島	25位	932	鹿児島	26位	520
沖縄	41位	736.5	沖縄	39位	418.5
合計		50837.99	合計		26154.99

都道府県名	順位	男女総合 (天皇杯)	都道府県名	順位	女子総合 (皇后杯)
新潟	1位	2426	新潟	1位	1054.5
東京	2位	1910	東京	2位	1001
大阪	3位	1767	大阪	3位	863.5
埼玉	4位	1739.5	神奈川	4位	782.5
神奈川	5位	1643	千葉	5位	760
千葉	6位	1589.5	愛知	6位	755.83
北海道	7位	1550.5	埼玉	7位	746
愛知	8位	1530.33	岐阜	8位	738
京都	9位	1507	北海道	9位	730
兵庫	10位	1324.5	兵庫	10位	696
広島	11位	1248.5	京都	11位	645
岡山	12位	1238	大分	12位	640.5
熊本	13位	1210	広島	13位	629
大分	14位	1209	岡山	14位	619
宮城	15位	1201.5	群馬	15位	597
岐阜	16位	1194.5	長野	16位	574
群馬	17位	1175.5	宮城	17位	563
長野	18位	1147	静岡	18位	559
福岡	19位	1136	熊本	19位	541.5
長崎	20位	1034.33	山口	20位	526.5
静岡	21位	1029	山梨	21位	525
石川	22位	1020.5	茨城	22位	524.33
茨城	23位	995.33	長崎	23位	523.33
香川	24位	977	山形	24位	523
鹿児島	25位	932	福岡	25位	522.5
栃木	26位	908	鹿児島	26位	520
山形	27位	898.5	佐賀	27位	516
山口	28位	890.5	徳島	28位	513
佐賀	29位	888.5	石川	29位	496.5
秋田	30位	868	福井	30位	492
山梨	31位	859	滋賀	31位	490
福井	32位	837	香川	32位	475.5
奈良	33位	833	愛媛	33位	446.5
青森	34位	803.5	富山	34位	442.5
福島	35位	788	和歌山	35位	441
愛媛	36位	777	島根	35位	441
富山	37位	773	福島	37位	421.5
滋賀	38位	758	栃木	38位	420.5
岩手	39位	744.5	沖縄	39位	418.5
徳島	40位	739.5	鳥取	40位	412
沖縄	41位	736.5	秋田	41位	408.5
島根	42位	719.5	青森	42位	381.5
和歌山	43位	705	奈良	43位	375.5
三重	44位	691	岩手	44位	371
高知	45位	663.5	三重	45位	363
宮崎	46位	622.5	宮崎	46位	341.5
鳥取	47位	598.5	高知	47位	327.5
合計		50837.99	合計		26154.99

第64回国民体育大会「トキめき新潟国体」における鳥取県選手団入賞者一覧

- 1 会期 平成21年9月26日(土)～10月6日(火)
 ※会期前 平成21年9月9日(水)～9月13日(日)
- 2 会場 新潟県内一円
- 3 競技数 正式競技37(鳥取県は29競技出場) 公開競技3(鳥取県は2競技出場)
 (正式競技)

競技名	種別	種目	順位	競技得点	個人・団体名(所属)	
陸上	成年男子	800m	3	6	田村 大輔(自衛隊体育学校)	
		110mH	1	8	西澤 真徳(福岡大学)	
	少年男子A	ハンマー投	1	8	柏村 亮太(倉吉北高校)	
	成年女子	走幅跳	7	2	湊 つばさ(鳥取県教育委員会)	
	少女共通	走高跳	2	7	萩原 くらら(河北中学校)	
水泳	飛込	成年男子	飛板飛込	4	5	安永 元樹(日本体育大学)
ボート	成年男子	シングルスカル	8	1	濱本 裕志(東レ)	
	成年女子	ダブルスカル	5	12	竹崎 希 藤田 美咲(東京経済大学)	
	少年男子	シングルスカル	4	5	池口 開(米子工業高校)	
	少年女子	シングルスカル	8	1	山中 絵梨(米子南高校)	
レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル 120kg級	5	2.5	山中 健嗣(神奈川大学)	
相撲	成年男子	団体	1	24	石前 辰徳 レンツェンドルジ・ガントウクス (鳥取城北高校) 山口 雅弘 伊藤 優(日本大学) 森 大樹(鳥取西中学校)	
	少年男子	団体	5	12.5	西郷 智博 塚本 直紀 中村武嵯士 須藤 火山 網谷 勇志 柴田 直人 木崎 信志(鳥取城北高校)	

競技名	種別	種目	順位	競技 得点	個人・団体名(所属)
弓道	成年女子	遠的	3	18	井手添 悦子(鳥取銀行) 藤田 菜扇子(湊齒科技工)
		近的	2	21	國森 由香里(ミスタードーナツ)
山岳	成年男子	ボルダリング	6	9	本多 隆志 瀬戸 啓太 (鳥取県中部ふるさと広域連合)
	少年男子	ボルダリング	8	3	山本 貴範 長谷川 諒(鳥取中央育英高校)
	少年女子	リード	6	9	古川 佳奈
		ボルダリング	4	15	岡本 夏実(鳥取中央育英高校)
カヌー	成年女子	スラローム カヤックシングル15G	5	4	遠藤 絵里子(大津赤十字病院)
アーチェリー	少年女子	団体	4	15	川中 香緒里 松本 ゆりあ 陶山 愛莉(米子南高校)
空手道	成年女子	形	1	8	宇佐美 里香(鳥取県教育委員会)
	少年男子	組手	5	2.5	岡村 将広(鳥取城北高校)

【入賞者数】10競技23種目39人 (昨年は14競技29種目55人)

(公開競技)

競技名	種別	種目	順位	競技 得点	個人・団体名(所属)
ビーチバレー	成年男子	団体	7	/	徳永 仁(鳥取商業高校) 松本 大翼(松本雅人事務所)

【入賞者数】1競技1種目2人 (昨年は入賞者なし)

4 知事表彰式

- (1) 日時 平成21年12月14日(月) 午後3時から
- (2) 場所 白兔会館(鳥取市末広温泉町556)
- (3) 対象者 8位までの入賞者(併せて、監督には感謝状を贈呈)